

令和 5(2023)年度

現代詩講座

詩のピクニック

小説家の詩歌を 味わう

講 師 (順不同)

行吉 正一

(元・東京都江戸東京博物館学芸員)

5月～6月、9月～10月、2～3月

北川 久美子 (高校非常勤講師) 1月

井上 直美

(元・中学校教諭、岡山県詩人協会会員) 12月

永瀬清子生家保存会会員 7月

赤磐市教育委員会学芸員 8月

日 時

毎月1回・原則第2金曜日

13時30分～15時30分

場 所

赤磐市立熊山公民館 1階講座室

※当日の参加人数によっては場所を移動する場合があります。

対 象 一般 (市内在住・在学・在勤)

募集人数 20人 (先着順)

参 加 費 年額 1,000円 (別途実費負担)

申込開始

令和5年4月4日 (火) 午前9時～

問い合わせ・申し込み先

赤磐市教育委員会

熊山分室

電話番号:

086-995-1360

今年度は、一般的には小説家として知られている文学者が書いた詩歌を読みましょう。小説家の自由な発想で書いた詩、俳句、短歌などには大きな魅力を持っています。また、永瀬清子の詩も毎回一作品紹介します。

講座内容

2023年5月～2024年3月

5月12日 (金)

オリエンテーション・夏目漱石の俳句、漢詩、詩を読む。

江戸時代最後の年に生れた漱石は、漢詩や俳句も多く作っています。また、新しい形式の新体詩にも挑戦しています。

6月9日 (金) 芥川龍之介の俳句、詩を読む。

大正時代を代表する小説家、芥川龍之介は、詩とともに、千を超える俳句を詠 (よ) んでいます。

7月14日 (金) 永瀬清子生家 (赤磐市松木) 見学と映画「きよこのくら」上映会

(集合:熊山公民館 入場料:300円+映画鑑賞料:1000円)

熊山公民館から永瀬清子の生家まで散策した後、映画「きよこのくら」を鑑賞し、生家を見学します。

8月18日 (金) 坪田譲治と永瀬清子

幼年期にふれた文学が、生涯自分を支えていく、自分の足元を照らしていると考えた坪田譲治と永瀬清子の人と作品を紹介します。

9月8日 (金) 永井荷風の詩、訳詞を読む。

明治から昭和にかけての小説家、随筆家の永井荷風は、フランス詩の翻訳をし、また、みずから詩も書いています。

10月13日 (金) 井伏鱒二の『厄除け詩集』を読む。

『山椒魚』、『黒い雨』などで知られる井伏鱒二の『厄除け詩集』は、自分の書いた詩と、漢詩の訳詩で構成されたユニークな詩集です。

11月25日 (土) 公開講座

公開講座を予定しています。詳細は、『広報あかいわ』10月号でお知らせします。

12月8日 (金) 人々の心の拠り所となる言葉を紡いだ詩人——茨木のり子

自分自身の芯を正しくもち、ぶれないように生きていくことの大切さを示してくれた詩人の詩をみていきます。

1月12日 (金) 源氏物語の和歌に親しむ

薄雲巻以降の歌を読んでいきます。

2月9日 (金) 井上靖の散文詩を読む。

戦後を代表する小説家、井上靖は、数多くの散文詩を書いています。小説と同じ題名の詩もあり、そこには小説を極度に圧縮した内容が含まれています。

3月8日 (金) その他の小説家の詩を読む。

森鷗外、高見順 (たかみじゅん)、林芙美子 (はやしふみこ) など、小説家として知られている文学者も、優れた詩をのこしています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止や延期、内容変更となる場合があります。

マスクの着用は個人の判断に委ねます。

館内では、手指を清潔に保つよう努めてください。

咳や発熱等の症状がある場合や、ご体調がすぐれない場合は、ご来館をお控えください。

主 催 赤磐市教育委員会